



Our Sharing economy Business

Sharing economy 事業説明資料

APAMAN Co.,Ltd.

JASDAQ : 8889



Company Profile



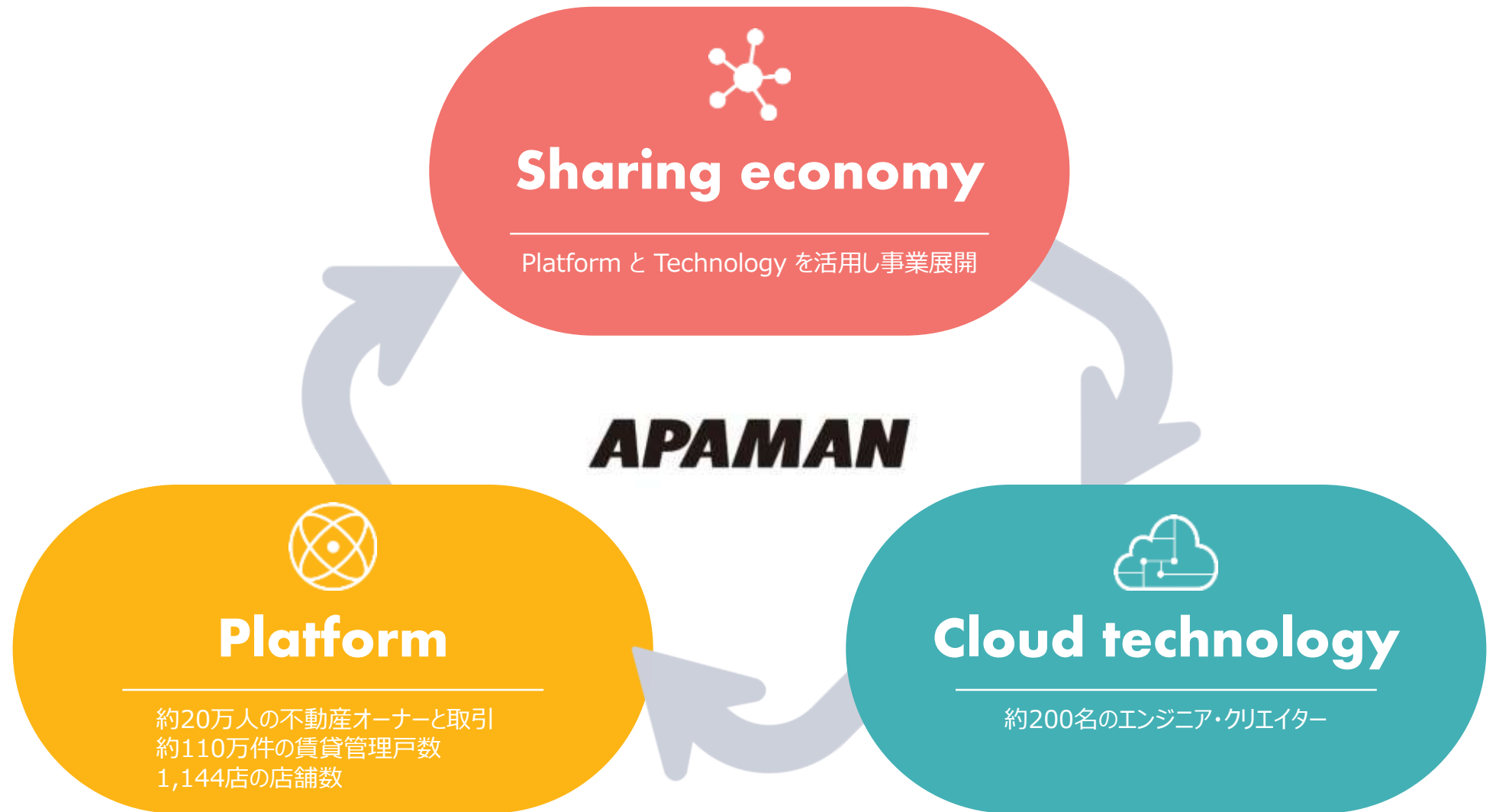
Company profile

商号	APAMAN株式会社
代表取締役社長	大村 浩次
資本金	79.8億円 (2017年12月31日現在)
連結従業員数	1,107名 (2017年12月31日現在)
本社所在地	東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル
事業内容	Sharing economy Platform Cloud technology
証券コード	8889 (JASDAQ スタダード)





(1) APAMANグループの強み



* 上記Platformの数字はFC加盟企業を含みます



(2) 2018年より急拡大するAPAMANグループの Sharing economy 事業

Sharing economy

民泊



2018年6月本格スタート

目標 5,000室

Coworking



現在国内19カ所、海外出資先19カ所

目標 国内外100ヶ所

Parking



現在コインパーキング2,337台

目標 30,000台

Share Bike



2018年5月本格スタート

目標 100,000台

民泊・Coworking・Parking・Share Bike含め、Sharing economy事業で400億円規模の売上を目指す



Platform



Cloud technology



* 上記数値はあくまでも目標数値であり、確約できる数値ではありません。
* Coworking施設数目標100ヶ所は、直営50カ所、提携50カ所をイメージしております。



(3) 売上イメージ



Sharing economy

民泊

1室平均 年200万円

×

5,000室

目標 100億円

Coworking

1施設平均 年2億円

×

直営50施設

目標 100億円

Parking

1台平均 年33万円

×

3万台

目標 100億円

Share Bike

1台平均 年10万円

×

10万台

目標 100億円

民泊・Coworking・Parking・Share Bike含め、Sharing economy事業で400億円規模の売上を目指す



Platform



Cloud technology



* 上記数値はあくまでも目標数値であり、確約できる数値ではありません。

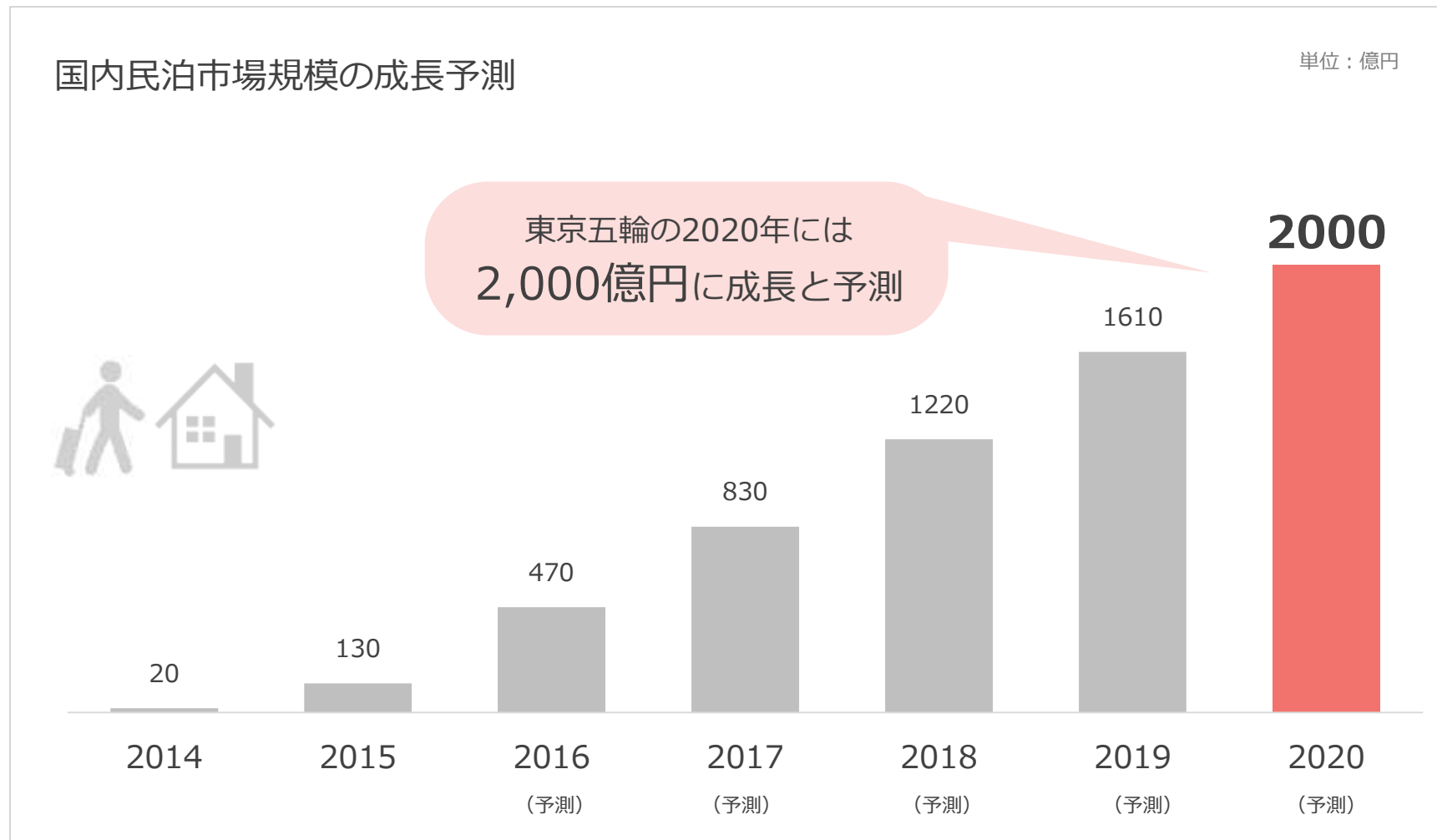


民泊



(1) 民泊の市場環境

訪日外国人数の急激な増加に伴う宿泊施設の供給不足が、民泊増加の要因



* SPIKEデータ「国内民泊市場規模 成長予測」



(2) 日本における民泊の種類

民泊新法
(住宅宿泊事業法)

2018年6月15日施行

国家戦略特区

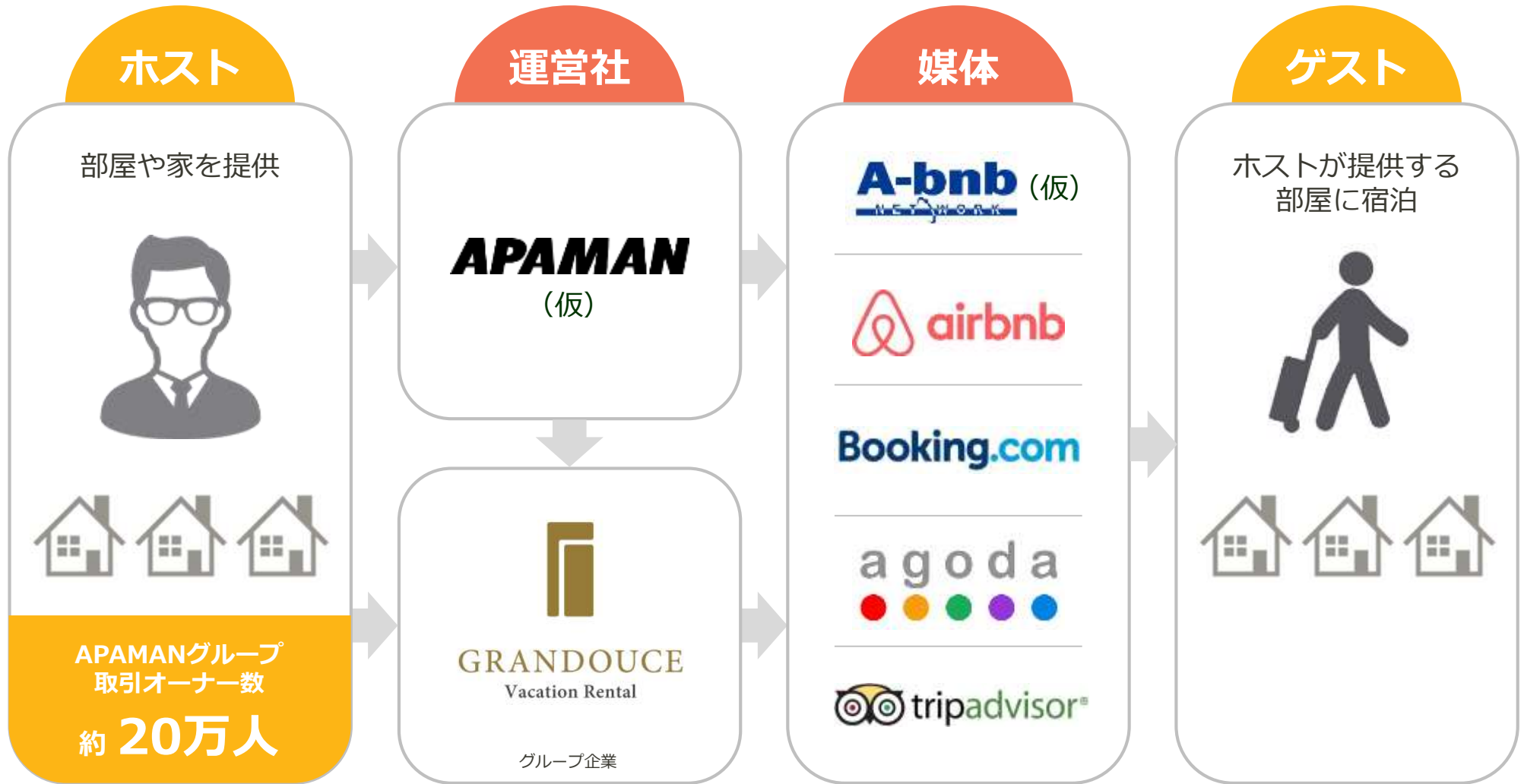
例) 大阪府、大阪市、東京都大田区

旅館業法
(簡易宿所の緩和)

例) 福岡市



(2) 民泊におけるプレイヤーとAPAMANグループの役割





(3) 民泊でのAPAMANグループの投資

合法民泊代行運営会社のGRANDOUCE及び
外国人向けコールセンターのインバウンドテックへ出資



- 現地調査
- 施設設営
- 集客
- 高品質な清掃
- デザイン
- 多言語対応
- チェックイン
- 緊急対応

- 英語
- 中国語
- 韓国語
- ポルトガル語
- スペイン語
- タイ語
- ベトナム語
- ロシア語
- フランス語
- など



(4) APAMANグループの民泊

都心部に管理物件を有するからできる

ビジネス民泊



47都道府県に営業拠点を有するからできる

体験型民泊



※出資企業



良質な物件を数多く有するからできる

High Quality民泊





(4) APAMANグループの民泊 ①ビジネス民泊

都心型ワンルームを民泊運用





(3) APAMANグループの民泊 ②体験型民泊

社会貢献も含め、47都道府県の民泊展開にチャレンジ

例：鹿児島県奄美群島伊仙町との連携予定（子宝山／出生率日本一／闘牛／世界遺産／ホエールウォッチング／300年ガジュマル／ウミガメ）

例：広島県宮島おけいこジャパンとの連携予定（インバウンド向け着付け・茶道・料理）※出資企業

例：(株)ポケカルと連携し(株)ポケカル九州を設立

300年ガジュマル



ホエールウォッチング



闘牛





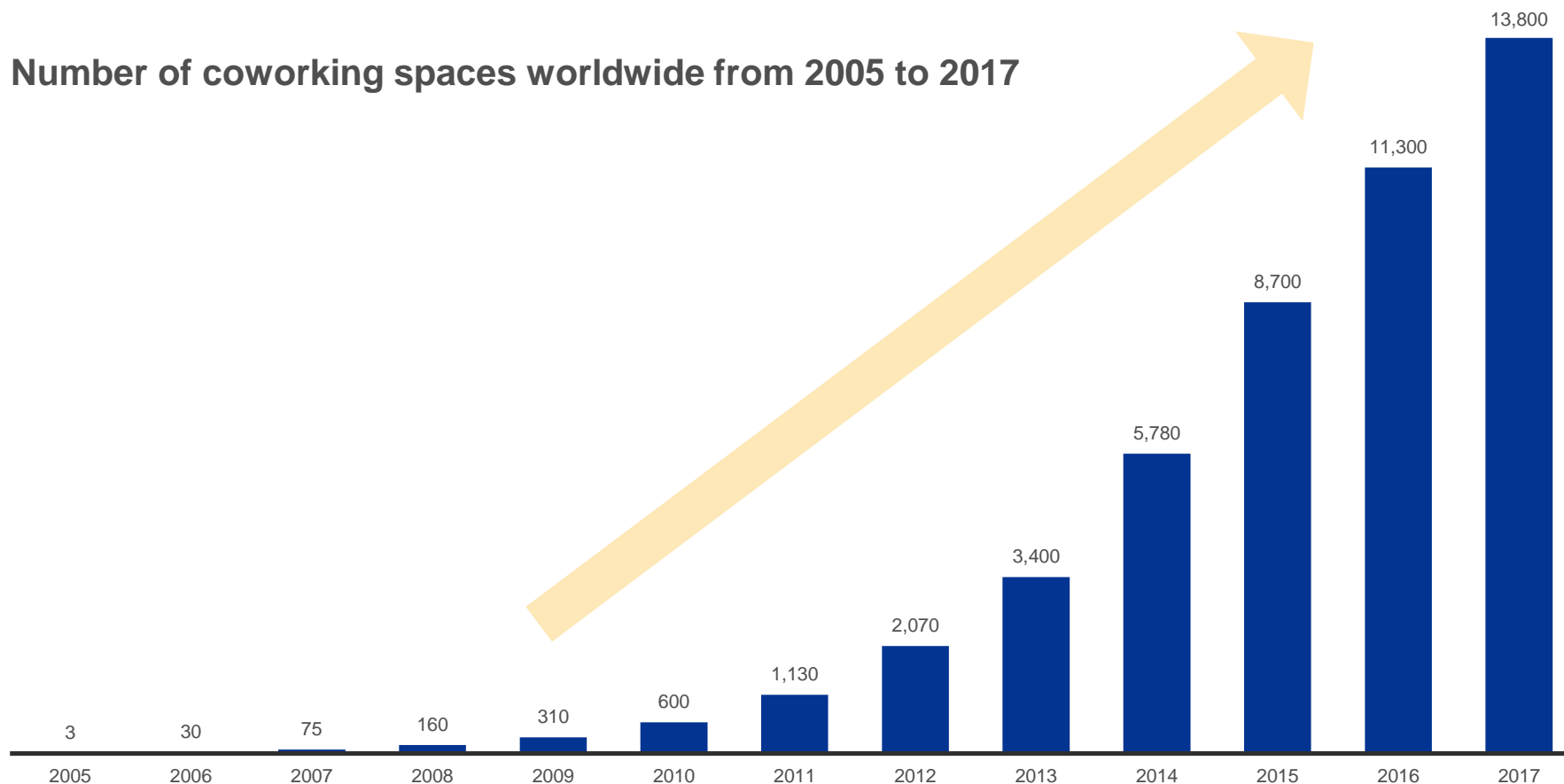
Coworking



(1) コワーキングスペースの市場環境

世界では既に13,800箇所もの coworking スペースが稼動

Number of coworking spaces worldwide from 2005 to 2017



Note: Worldwide; 2005 to 2017; 1,876; as of October 31 of each year.
Further information regarding this statistic can be found on [page 31](#).
Source: Deskmag; Nexodus; essensys; GCUC ID 554273



(2) コワーキングスペースの日本の主なプレイヤー



fabbit

- ・施設数 国内18拠点・会員数 約2,500名（社）
- ・充実したスタートアップ企業支援プログラム
- ・強力なアドバイザリーボード
- ・イベントでの圧倒的情報提供量

Regus



wework



NewWork



* fabbit 施設数は、設計・施工中物件を含む



(3) fabbit 最大の特徴であるスタートアップエコシステム

支援プログラム

- (1) 支援協議会の設置
- (2) マンスリーカンファレンスの開催
- (3) 「メンター」「コミュニティアクセラレーター」「インキュベーションマネージャー」による段階的なMTG
- (4) 起業家交流会・ネットワーキングパーティー
- (5) ものづくりピッチコンテスト
- (6) 金融機関の情報発信
- (7) VC紹介・クラウドファンディング
- (8) Design Lab・Creative Lab・Engineer Labの開催
- (9) メディア
- (10) 大規模カンファレンス

大規模カンファレンス (例)



アドバイザリーボード・代表者

fabbit advisory board



Keith Krach 氏

DocuSign, Inc. 取締役会長

ハーバード大学でMBAを取得し、GM史上最年少副社長に就任。元Ariba会長及びCEO Ernst & YoungからNational entrepreneur of the yearに指名。世界経済フォーラムでTechnology Pioneer Awardを受賞。その他様々な企業の会長職や大学の博士号を取得。



藤井 ダニエル 氏

トラスト・キャピタル(株) 代表取締役社長 兼 CEO

ハーバード大学で学士号・ハーバード大学大学院で修士号を取得。元Blackstone日本代表。ハーバードクラブ・オブ・ジャパン理事。Phillips Andover Asia Council 役員。米日カウンシルの理事、シリコンバレー・ジャパンプラットフォーム (SVJJP) のエグゼクティブコミティメンバー。



那珂 通雅 氏

ポードワーク・キャピタル(株) 代表取締役社長CEO

慶應義塾大学理工学部を卒業。1989年に理工学研究科工学修士取得。元シティグループ証券 取締役副社長。一橋大学大学院 非常勤講師、慶應義塾大学非常勤講師

fabbit (株) 代表取締役社長



田中 保成 氏

ハーバード大学でMBAを取得し、ボストン・コンサルティング・グループなどを経て、fabbit株式会社 代表取締役に就任



(4) fabbitの目標

国内外 100 拠点を目指す



大手町 (東京)



京橋 (東京)



日本橋 (東京)



秋葉原 (東京)



銀座 (東京)



神宮前 (東京)



青山 (東京)



八王子 (東京)



栄 (名古屋)



大阪本町 (大阪)



新大阪 (大阪)



大阪福島 (大阪)



広島 (広島)



北九州 (福岡)



博多 (福岡)

* 上記数値はあくまでも目標数値であり、確約できる数値ではありません。



Coworking

(5) シェアリング事業に関する fabbitとのオープンイノベーション (投資・提携等)



民泊施設の
運営・管理

Grandouce Inc.

出資



外国人向け
コールセンター

(株)インバウンドテック

出資



日本文化
体験サービス

(株) okeikoJapan

出資



日本文化
体験サービス

(株)ポケカル九州

提携



スマートロック

(株)tsumug

出資



シェアパーキング
シェアスペース

軒先(株)

出資

Global



Coworking

Workbar Inc.

出資



Coworking

Philippine marimo

出資



Parking



(1) コインパーキングのマーケット



需給の
アンバランス

自動車
保有台数
約 **8,100** 万台



コインパーキング
車室数
約 **118** 万室

時代の要請



土地オーナーの
メリット

初期投資
不要

賃貸管理
不要

固定収入
獲得

* コインパーキング車室台数は、一般社団法人日本パーキングビジネス協会より (2015年4月現在)
* 自動車保有台数は、自動車検査登録情報協会より (2016年5月末現在)



(2) パーキング事業の方向性

パーキングシェア事業を推進

駐車場数の増加

コインパーキング

(時間貸)



2,337台
(2018年2月28日現在)

軒先社に出資し、システムを共有

シェアパーキング

(時間・日貸)



6,032台
(2018年2月28日現在)

* 画像はイメージです

* コインパーキング・月極パーキングは当社が運営する台数です。シェアパーキングは登録台数です。



Share Bike



(1) APAMANグループがShare Bike事業を行う意義

「自転車活用推進法」に沿って「CO2削減」等に貢献します

CO₂ 排出
削減

違法駐輪
削減

市街地の
混雑緩和

資産効率
の拡大





(2) APAMANグループのビジネスモデル

「店舗」「民泊物件」「管理物件」など、全国の様々な場所に設置します

全国の店舗へ設置



ビジネス需要、地域内
移動需要の取り込み

民泊物件への設置



観光需要の取り込み

管理物件への設置



賃貸物件価値の向上、
入居者利便性の向上

コインパーキングとの併用での拡大も可能



(3) シェアサイクルブランド

2018年5月 サービススタート予定

ecobike

Powered by HELLO CYCLING

アパマンショップの
シェアサイクル

2018年中
サービス
開始

かんたん気軽に借りれて、返せる自転車です。

ecobike | アパマンショップ

FEATURE

スマホでかんたんに
いつでも、気軽に利用できる。

FEATURE

どこでも借りれて、
どこでも返せる。

FEATURE

1アカウントで
複数台予約ができる。



最後に

APAMAN

Sharing economy | Platform | Cloud technology

今期より事業セグメントをSharing economy、Platform、Cloud technologyに変更し、本格的にSharing economy事業の拡大にむけて動きだしました。

世界規模で急拡大を続けるSharing economyは、所有する経済から利用する経済へと大きく世界情勢が動いている証でもあります。

私たちは、世界の情勢に目を向けただけではなく、APAMANグループの強みをさらに発揮できると考え、Sharing economy事業を拡大させてまいります。

今後のAPAMANグループの成長にご期待ください。

本資料に関する注意事項

本資料の表示数値は金額に関しては切り捨て、パーセンテージ表示については四捨五入等、端数計算により行っているため、算式に基づき算定される数値とその結果として記載される数値は必ずしも一致しない場合があります。

本資料に記載されている経営戦略、計画や見通し等は、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。

本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。

また、掲載内容については、細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容が正確であるかどうか、有用であるかどうか、更新時期が適切であるか等について当社は一切保証するものではありません。また、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は、APAMAN株式会社および当社関係会社の事業の概要へのご理解をいただくために作成されたものであり、投資の勧誘または斡旋を行うものではありません。投資に関するご判断はお客様自身の責任で行われますようお願い申し上げます。